

第2回石巻市立高等学校統合準備委員会次第

日時：平成22年6月9日（水）

午後1時30分～

場所：石巻市役所 501会議室

次 第

1 開 会

- (1) 委員長挨拶
- (2) 前回会議要旨確認

2 協 議

統合校教育課程について

(1) 単位数大枠の検討について

- ① 品格教育の必修化について
- ② 必履修教科・科目について
- ③ コース及び共通選択科目設定の在り方と単位数について

(2) 教育課程について<両校案を基に検討する>

(3) その他

1) 次回検討事項

- ① 教育課程の編成等について

2) 次回の日程（案）について

日時：平成22年7月6日（火） 午後1時30分～

場所：石巻市役所 201会議室

3) その他

3 閉 会

第2回石巻市立高等学校統合準備委員会

(資料)

平成22年6月9日(水) 13:30~

501会議室

<統合校教育課程について>

(1) 単位数の大枠の検討について

① 品格教育の必修化について

「石巻市立高等学校再編の基本方針」の7として、両校参加のもとに以下の項目を検討するとある。

・生徒個々の「豊かな人間性」や「社会人としての品格」を重視した教育課程及び教育内容の在り方

※石巻市立高等学校将来構想策定検討委員会で女子教育を行う上での最大の売り（コンセプト）とされた。<すべての生徒に履修させる。>

②必履修教科・科目について

<教育課程検討資料>

新学習指導要領

第3款 各教科・科目の履修等

1 各教科に共通する必履修教科・科目及び総合的な学習の時間

(1) すべての生徒に履修させる各教科・科目（以下「必履修教科・科目」という。）は次のとおりとし、その単位数は、第2款の2に標準単位数として示された単位数を下らないものとする。ただし、生徒の実態及び専門学科の特色等を考慮し、特に必要がある場合には、「国語総合」については3単位又は単位とし、「数学Ⅰ」及び「コミュニケーション英語Ⅰ」については2単位とすることができ、その他の必履修教科・科目（標準単位数が2単位であるものを除く。）についてはその単位数の一部を減じることができる。

ア 国語のうち「国語総合」

イ 地理歴史のうち「世界史A」及び「世界史B」のうちから1科目並びに「日本史A」、「日本史B」、「地理A」及び「地理B」のうちから1科目

ウ 公民のうち「現代社会」又は「倫理」・「政治・経済」

エ 数学のうち「数学Ⅰ」

オ 理科のうち「科学と人間生活」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」のうちから2科目（うち1科目は「科学と人間生活」とする。）又は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」のうちから3科目

カ 保健体育のうち「体育」及び「保健」

キ 芸術のうち「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「工芸Ⅰ」及び「書道Ⅰ」のうちから1科目

ク 外国語のうち「コミュニケーション英語Ⅰ」（英語以外の外国語を履修する場合は、学校設定科目として設ける1科目とし、その標準単位数は3単位とする。）

ケ 家庭のうち「家庭基礎」、「家庭総合」及び「生活デザイン」のうちから1科目

コ 情報のうち「社会と情報」及び「情報の科学」のうちから1科目

必修単位数の試算

ア	国語	4
イ	地歴	4～8
ウ	公民	2～4
エ	数学	3
オ	理科	4～6
カ	保健体育	9～10
キ	芸術	2
ク	外国語	3
ケ	家庭	2～4
コ	情報	2
		<hr/>
		35～46

③コース及び共通選択科目設定の在り方と単位数について（別紙参照）

（2）教育課程について＜両校案を基に検討する＞

（3）その他

・統合備委員会計画（案）（P. 4参照）

統合校の教育課程イメージ

			単位	
共通選択(進学・ビジネス・調理・福祉・介護・保育等)				
普通科系コース	家庭科系コース	商業科系コース	コース	81
<h1>普通科</h1>			必修3546・その他	
			<h1>品格教育</h1>	
総合的な学習の時間			3	9
L	H	R	3	
				90

石巻市立高等学校統合準備委員会計画(案)

	石巻市立高等学校基本構想検討委員会	備 考
第一回 (五月十一日)	1 「石巻市立高等学校再編の基本方針」について	
	2 石巻市立高等学校統合準備委員会要綱について	
	3 教育目標等の設定について	
	4 教育課程の編成について	
	5 統合工程表について	
	6 その他	
第二回 (六月九日)	1 教育課程の編成について	
	(1) 品格教育の必修化について	※基本方針
	(2) 必履修教科・科目について	
	(3) コース及び共通選択科目の在り方と単位数について	
	(4) 教育課程について(両校の具体案を基に検討)	
2 その他		
第三回 (七月)	1 教育課程の編成について	※決定を目標とする
	・両校の教育課程案の調整について	
	2 使用教室等施設整備について	
	3 目指す学校像・生徒像について	
4 その他		
第四回 (九月)	1 目指す学校像・生徒像について	
	2 使用教室等施設整備について	
	・具体の検討について	
3 その他		
第五回 (十月)	1 使用教室等施設整備について	
	2 校名・校歌・校章・校旗・制服等について	※方針検討
	(1) 全体確認について	
	(2) 校名検討について	※校名の募集開始
3 その他		
第六回 (十一月)	1 校名について	
	2 閉校について	※方針検討
	3 開校について	※方針検討
	4 工事関係確認について	
	5 その他	
第七回 (十二月)	1 校名について	※内定
	2 閉校及び開校について	
	3 計画の集約・確認について	
	4 次年度の検討課題について	
	5 その他	

※ 予算措置について(10月~11月初旬)

石巻市教育委員会が考える品格教育について

石巻市では、石巻市総合計画基本目標として、「個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち」を掲げ、「生きる力」と「想像力」を備えた人材の育成を目指しています。さらに、毎年度の学校教育の方針と重点の中で、「豊かな情操と道徳性」「優れた知性と創造性」「すこやかな心と体」を重点に、市民の生涯にわたる学習の充実に努めることを第一に考えています。

石巻市教育委員会が「品格教育」を考えた出発点は、石巻市立高等学校の統合校の「魅力ある学校づくり」はどうあるべきか、ということが始まりです。その中で高校教育が抱える今日の課題に言及し、理想的教育の全体像として「知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」が期待されていることが話し合われました。その中でも徳育の底上げが不可欠であること、特に女子教育の中で生徒個々の「豊かな人間性」や「社会人としての品格」を重視した教育課程及び教育内容の在り方について検討する必要性が強調されました。

市教委としては、これらを踏まえ、生徒全員の品格を高めることを学校教育の根底に据え、知育・徳育・体育のバランスのとれた人づくりを本市における女子教育の中核に据えた学校づくりが「魅力ある学校づくり」につながるものと確信したのです。

幸いにも、石巻市立女子高等学校が平成15年度から学校設定科目として「生活教養」を開設し、生活教養コースの特色を生かしながら、3年生を対象に実践的な内容を取り入れた実績があります。これらを基に、琴や茶道、華道、着付け等の女性のたしなみ、マナーや伝統美を身につけることを授業に取り入れ、あいさつや言葉遣い、服装や身のこなし等を向上させることによって社会人としての品格を身につける「品格教育」を1年生から3年生までを一貫して実践していくことにしたのです。

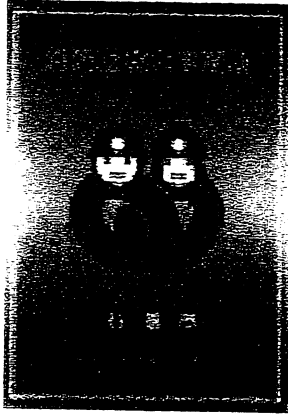
市教委が統合校を新設する際のコンセプトとして、女子教育の中心に「品格教育」を導入することを考えましたのは、以上の考えに基づくものですが、必ずしも完結したものではありません。市立高等学校がこれまで作り上げた教育理念を生かしながら、3年間にわたる計画のもと、これからもノウハウを積み上げることにより、石巻市立の高等学校として新たな歩みを創造していくことが今後の教育に意義のあるものと考え、取り入れられました。今後ますます充実した「品格教育」が実現されることを願っております。

る社会貢献の証

消防団協力事業所として認定された場合の

協力的な事業所等を「所」と認定し、地域に貢献の証として認定証及び協力証の制度である。

認定証等を社屋に掲示し、協力的な事業所として公表するなど、地域に対するイメージアップにつながる。



▲消防団協力事業所認定マーク証

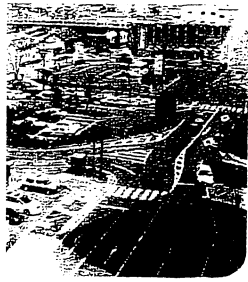
生徒の多様な進路希望や興味・関心に応じ、科目を選択することが可能となるよう、学科の設定を工夫するとともに、琴や茶道・華道・着付け等の女性のたしなみやマナー、伝統美を身につけるための学習を教育課程に位置づけたい。

なお、具体的内容については統合準備委員会を設置して検討したい。

答 統合準備委員会を設置し検討する

再編される市立高校が、「魅力ある学校」となるよう、どのような方策を考えているのか。

答



答

駅前広場内の混雑緩和と交通の円滑

駅前駐輪場の移設や、タクシープールの整備など駅前広場を大幅に改良すべきと考えるが。

答 中心市街地活性化対策の中で整備をすすめたい

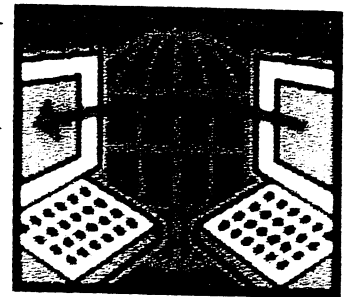
答

災害時情報伝達手段の構築が可能か検討

情報基盤施設（光ファイバー網）の整備が進み、世帯カバー率は99.4%までになったことから、今後、ブロードバンドを災害時の通信手段として活用すべきと考えるが。

答

平成23年度を目標にブロードバンドが利用できる環境を整備することとしており、今後このネットワークを活用した、地域における災害時情報伝達手段の構築が可能か検討していく。



答

田代島の持つ魅力や島のふれあいのできる島と更に積極的にPRし、観の誘致につなげていきたい。

答 積極的にPRしていく

猫の島・田代島は、や雑誌などでも大きく取り上げられ、また、新たに猫ツジが増設されることも田代島をもっと動物にやいまちづくりのシンボルでアピールしてもいいのでは。

化を推進していきたい

のため、電気式生ゴミ処理機

コース制における最低単位数について

- 1 商業科（専門学科の場合）・・・25単位以上
- 2 コース制（共通選択を含む）・・・18～20単位程度
※限りなく25単位に近づくと職員の持ち時間が増え、
職員加配が不可欠となる。

<コース制の望ましい単位設定の仕方>

$$\begin{array}{ccc} \text{コース単位数} & \geq & \text{共通選択単位数} \\ 9 & & 9 \\ 10 & & 10 \end{array}$$

※際限なく共通選択の単位数を増やせば、施設面に不足を来し、職員加配も多数必要になり、総合学科及び単位制と変わりなくなる。

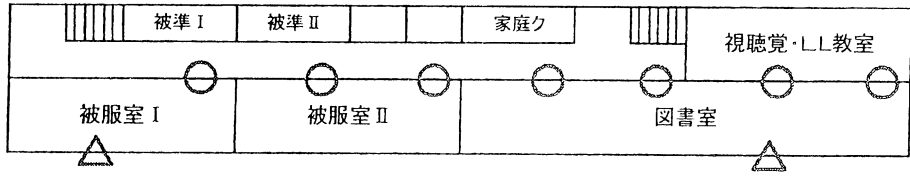
※市立高等学校の統合に向けて、単位制や総合学科の採用又は小学科（商業科）を併設できなかつた理由は、施設面の制約があつたことをご理解願いたい。

石巻市立女子高等学校（配置図）

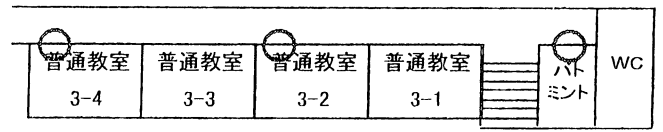
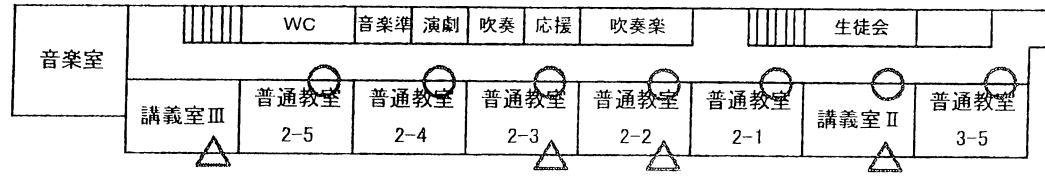
耐震補強箇所

○ 耐力壁
△ 鉄骨ブレース

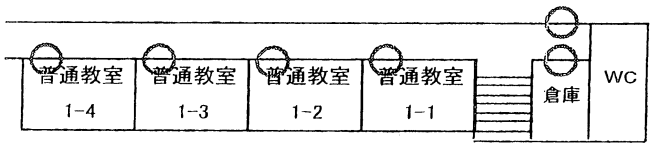
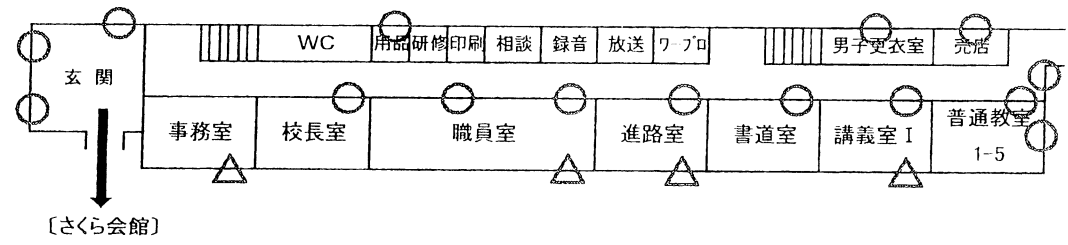
4階



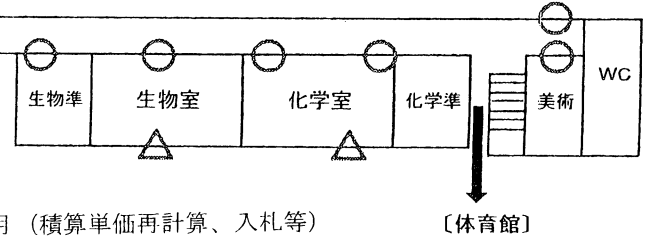
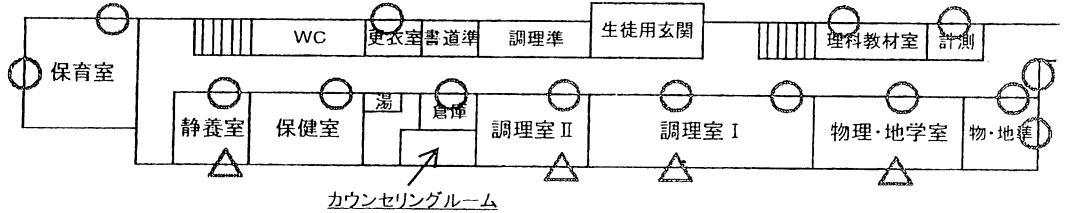
3階



2階



1階



- ・耐震補強準備等～5ヶ月（積算単価再計算、入札等）
- ・仮設校舎の設置～5ヶ月
- ・耐震補強工事～13ヶ月

∞

平成25年度入学生 教育課程表(案) (平成22年度入学生教育課程(旧カリのまま)を基本とする)

石巻市立女子高等学校

人文コース

	1年	2年	3年				
1	国語総合(5)	現代文(2)	現代文(3)				
2							
3		古典講読(2)	日本史A(2)				
4							
5		世界史A(2)					
6	現代社会(2)	政治・経済(2)	数学Ⅱ(2)				
7							
8	数学Ⅰ(4)	数学Ⅱ(3)	数学Ⅱ(2)				
9							
10	数学A(2)	生物Ⅰ(3)	生物Ⅱ(3)	地学Ⅰ(3)		体育(2)	
11							
12	理科総合A(2)	体育(3)	ライティング(2)				
13							
14	体育(3)	保健(1)	リディング(4)				
15							
16	保健(1)	書道Ⅰ(2) 美術Ⅰ(2)	情報A(2)				
17							
18	音楽Ⅰ(2)	英語Ⅱ(4)	類型選択科目(6)				
19							
20	オーラルⅠ(2)	ライティング(2)	文系四大進学類型 保育短大進学類型 看護医療進学類型 教養類型				
21							
22	英語Ⅰ(3)	類型選択科目(4)	家庭総合(4) 進学類型 家政系大学進学類型 進保短大進学類型 進看護医療 教養類型				
23							
24	家庭基礎(2)	進文系四大 進保短大 進看護医療 教養類型	総合的な学習の時間				
25							
26			L H R				
27							
28							
29			L H R				
30							

生活コース

	1年	2年	3年	
1	国語総合(5)	現代文(2)	現代文(3)	
2				
3		世界史A(2)	日本史A(2)	
4				
5		数学B(2)		
6	現代社会(2)	政治・経済(2)	生物Ⅱ(3) 地学Ⅰ(3)	
7				
8	数学Ⅰ(3)	生物Ⅰ(3)	体育(2)	
9				
10	数学A(2)	体育(3)	英語Ⅱ(3)	
11				
12	理科総合A(2)	保健(1)	フードデザイン(3)	
13				
14	体育(3)	書道Ⅰ(2) 美術Ⅰ(2)	服飾手芸(2)	
15				
16	保健(1)	英語Ⅱ(3)	情報A(2)	
17				
18	音楽Ⅰ(2)	発達と保育(2)	類型選択科目(6)	
19				
20	英語Ⅰ(4)	被服製作(2)	家政系大学進学類型 保育短大進学類型 看護医療進学類型 教養類型	
21				
22	英語Ⅰ(4)	フードデザイン(2)	家庭総合(4) 進学類型 家政系大学進学類型 進保短大進学類型 進看護医療 教養類型	
23				
24	家庭総合(4)	類型選択科目(4)	総合的な学習の時間	
25				
26			L H R	
27				
28				
29			L H R	
30				

ビジネスコース

	1年	2年	3年	
1	国語総合(5)	現代文(2)	現代文(3)	
2				
3		世界史A(2)	日本史A(2)	
4				
5		数学B(2)		
6	現代社会(2)	政治・経済(2)	生物Ⅰ(3)	
7				
8	数学Ⅰ(3)	生物Ⅰ(3)	生物Ⅱ(3) 地学Ⅰ(3)	
9				
10	数学A(2)	体育(3)	英語Ⅱ(3)	
11				
12	理科総合A(2)	保健(1)	ビジネスD(3)	
13				
14	体育(3)	書道Ⅰ(2) 美術Ⅰ(2)	ビジネスA(2)	
15				
16	保健(1)	英語Ⅱ(3)	ビジネスB(2)	
17				
18	音楽Ⅰ(2)	発達と保育(2)	情報A(2)	
19				
20	英語Ⅰ(4)	被服製作(2)	類型選択科目(6)	
21				
22	英語Ⅰ(4)	フードデザイン(2)	家政系大学進学類型 保育短大進学類型 看護医療進学類型 教養類型	
23				
24	家庭総合(4)	類型選択科目(4)	総合的な学習の時間	
25				
26			L H R	
27				
28				
29			L H R	
30				

◎商業系コースの構想 (NO.3)

管内の商業の教科を設置する学校として、他の商業高校とは違った観点からカリキュラムを編成し、特に重要視される学校・家庭・地域社会が、互いに連携協力できる学習内容の確立を目指す

ビジネスキャリアコース
80名

CB系
(コミュニティビジネス)

CD系
(コマースデザイン)

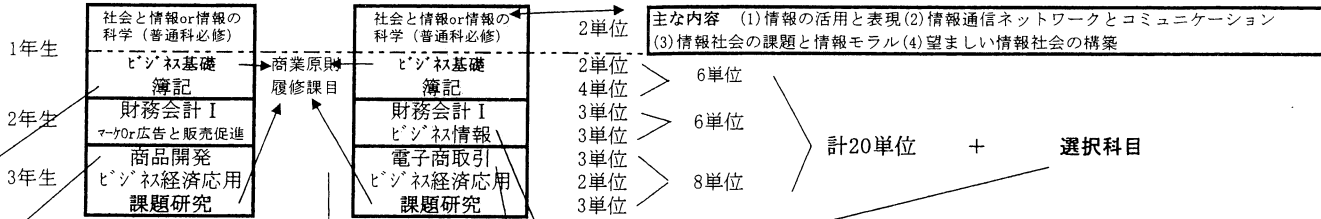
商業に関する基礎・基本を重視した科目をベースに、地域社会の抱える課題や問題点などを、地域の産業や資源、様々なイベントや企画などを生かしながら、ビジネス手法を駆使して考える学習展開。

「地域社会・経済」をベースに、地域連携や地域の活性化を促進するための学習を展開し、生徒に「生きる力」を身に付けさせ、明確な目的意識を持って日々の学校生活に取り組むことができる態度や、激しい社会の変化に対応できる能力の育成を目的とする。

地域企業の販売促進や広報などの表現計画活動を、情報技術を活用しながら考え、学習を展開する。特にICT技術へ対応できる資質や能力の育成を目指す。

新学習指導要領の主な骨格 (商業)

- ・経済のサービス化・グローバル化・ICTの急速な進展等への対応
- ・ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う実践力や地域産業の振興など企業家精神を見につけた人材の育成への対応
- ・職業人としての倫理観や遵法精神などの育成への対応



※3年生に普通科と商業科の選択科目をいれる場合は、「簿記演習」(学校設定科目)を追加する。(全商簿記1級取得が可能)

ビジネス実務 従来の珠算・電卓・ワープロなどの資格取得に捉われず、実践的なビジネスマナー・コミュニケーション能力を身に付けさせる学習を重視。

商品開発 消費者の視点に立った商品の考案・企画・販売・実習。ものづくり・グラフィックデザイン・知的財産権の学習など

ビジネス情報 ビジネス社会におけるプレゼンテーションの技法の習得。ビジネス計算とデータ集計・分析。(資格取得の奨励)(様々なビジネスソフトの活用)

電子商取引 企業のwebデザインや広告・広報の制作。インターネットを活用したビジネスの研究やこれに伴う様々な課題・問題点に対処できる能力を身に付ける。

ビジネス経済応用 ビジネスに必要な経済に関する知識の習得やビジネスの動向に着目させる能力の育成。(グローバル化・サービス経済化への対応) また、知識基盤社会へ対応(新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ、社会のあらゆる領域での活動の基盤となる社会)するための思考力、判断力、表現力を高めるための学習。これらの内容をふまえた上で、地域産業や社会の振興を考えさせ、地域の活性化策などの具体的な提案へと発展させる。

課題研究 地域産業が振興するための提案や様々な実践を通じて、地域に貢献する意識を高める。インターンシップの実施。地元企業や大学との連携。(地域の様々なイベントへの参加やプロジェクトの企画)(人格形成を基盤としたビジネススキルを身に付けさせる。) 地域が率先して取り組んでいる身近な課題(食文化・観光・自然・福祉等)に主体的に参画し、調査・研究する能力を養う。石巻専修大と提携

主に取得できる資格
全国商業高等学校協会主催
商業経済検定1～3級
簿記実務検定1～3級
情報処理検定1～3級
珠算・電卓検定1～3級
ワープロ検定1～3級
など

目標とする他の資格
日本商工会議所主催
販売士3級
日本秘書協会主催
秘書検定3級
など

平成25年度入学生用教育課程表

	1年			2年			3年				
	(普通コース)	(家庭コース)	(商業コース)	(普通コース)	(家庭コース)	(商業コース)	(普通コース)	(家庭コース)	(商業コース)		
1	①共通選択の中に「選択の帯」を設ける。										
2	②2・3年生の共通選択に系統性をもたせる。										
3	③共通科目に、各コース関係の基礎科目と発展科目を2・3年に配列する。(学びの帯)										
4	④1年時の科目説明会で十分説明し、2・3年時の学びを保障する。										
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21	社会と情報OR情報と科学			共通選択(6)			共通選択(8)				
22							コミュニケーションビジネス類型 商品開発③・ビジネス経済応用② 課題研究③ コマーシャルデザイン類型 電子商取引③・ビジネス経済応用③ 課題研究				
23	コース固有科目(6)	ビジネス固有基礎②・簿記④	共通選択(6)			家政系大学類型					
24						保育短大類型					
25			看護医療類型								
26			⋮								
27			⋮								
28			⋮								
29			総合的な学習の時間			総合的な学習の時間			総合的な学習の時間		
30			L H R			L H R			L H R		

※2年時の「共通選択」の単位数を5単位にするのが理想である。